

単元	項 (L/R)	行	誤	正
	執筆者	下 4	武田製薬工業(株)	武田薬品工業(株)
* 総論 1 章 毒性病理とは	5L	13	医・獣・薬学	医・獣・薬学
総論 1 章 毒性病理とは	8L	21	使用が許可されていない 農薬	使用が許可されている農 薬
総論 6 章 炎症と免疫	61L	下 15	免役	免疫
* 総論 6 章 炎症と免疫	74L	15, 18, 29	免役	免疫
総論 6 章 炎症と免疫	74R	3	免役	免疫
総論 6 章 炎症と免疫	75L	1	免役	免疫
各論 I-1 章 鼻腔～気管	101R	下 10	肺細胞や気管線	肺細胞や気管腺
各論 I-1 章 肺	124R	5	慢性細気管支肺炎	慢性細気管支肺炎
各論 I-1 章 肺	125L	8	肉芽腫内	肉芽腫内 (内の上のドット削除)
各論 I-1 章 肺	126R	12	肺包上皮	肺胞上皮
各論 I-1 章 肺	129R	下 12	肥満してみえる	肥厚してみえる
各論 I-2 章 歯	146L	下 3	象牙粒とは	象牙質粒とは
各論 I-2 章 歯	147L	下 12	の生活力と	の活性化度と
各論 I-2 章 小腸・大腸	192L	14	受け渡すること	受け渡すこと
各論 I-2 章 小腸・大腸	193L	15	) 神経叢	) 神経叢
* 各論 I-2 章 小腸・大腸	194R	3	(写真 8	(写真 7
* 各論 I-2 章 小腸・大腸	195R	12	果たしている。	果たしている (写真 8)。
各論 I-2 章 小腸・大腸	195R	写真 11	24 時間後、48 時間後	24 時間連続投与後、48 時 間連続投与後
* 各論 I-2 章 小腸・大腸	200R	12	(アルカリフォスファタ ーゼ)	(酸性フォスファターゼ)
各論 I-2 章 小腸・大腸	203R	下 7	形態臓器や	形態像や
各論 I-2 章 小腸・大腸	205R	6	丈の増加	丈の伸長
各論 I-2 章 小腸・大腸	207R	写真 49	写真 49 の	写真 48 の
各論 I-2 章 小腸・大腸	209R	2	通常に肛門	通常は肛門
各論 I-2 章 肝臓	230L	3	cavanous	cavernous
各論 I-2 章 肝臓	237L	下 5	封入体がみられる。	封入体がみられる (写真 38)。
各論 I-2 章 肝臓	237R	下 8	骨髄性白血病	骨髄性白血病
各論 I-2 章 肝臓	251L	下 14	強い多稜～	強い多稜～
* 各論 I-2 章 胆嚢	255L	下 8	内縦、外斜	内縦、外縦
各論 I-2 章 胆嚢	256L	6	よって高調に	よって高張に
* 各論 I-2 章 膵臓	257R	下 21	を給与した	を給餌した
* 各論 I-2 章 膵臓	266L	1	polyarthritis	polyarteritis
各論 I-3 章 心臓	284R	14	腫瘍胞の	腫瘍細胞の
各論 I-4 章 腎臓	299R	下 8	腎門 hilum enalis	腎門 hilum renalis
各論 I-4 章 腎臓	299R	下 1-2	左右の腎の前端は前後に ずれており、左腎が右腎よ りも少し後方に位置する。	肝臓の存在により、右腎が 左腎よりも少し低い位置 にある。

\*: 正誤表 (第一版 2019 年 9 月) より追加修正

単元	項 (L/R)	行	誤	正
各論 I-4 章 腎臓	300L	下 3	Malpighan body	Malpighian body
各論 I-4 章 腎臓	302L	下 14	発達している細胞膜の	発達している。細胞膜の
* 各論 I-4 章 腎臓	312L	17	[写真 24]	(写真 24)
各論 I-4 章 腎臓	316L	7	(写真 12 参照)	(写真 42 参照)
各論 I-4 章 腎臓	317L	7	脂質の過酸	脂質の過酸化
各論 I-4 章 腎臓	321R	5	infectious peritoneal	infectious peritonitis
各論 I-4 章 腎臓	327L	14	真珠形成	癌真珠形成
各論 I-4 章 膀胱～尿道	346L	7	⑧ (和文なし)	間葉系増殖病変
各論 I-5 章 雄性生殖器	347L	下 8	の薄膜	の白膜
各論 I-5 章 雌性生殖器	384R	1	ジメチルニトロベンズア ントラセン	ジメチルベンズアントラ セン
各論 I-5 章 雌性生殖器	386R	下 4	発情期の特徴	発情休止期の特徴
各論 I-5 章 雌性生殖器	391L	10	放射線、	放射線、
各論 I-5 章 雌性生殖器	392L	2	対照群と	成熟した正常動物と
各論 I-5 章 雌性生殖器	394R	8	対照群と	正常動物と
各論 I-5 章 雌性生殖器	400R	12	に小細胞滴を	に脂肪滴を
各論 I-5 章 雌性生殖器	403L	下 12	PAS 陽の	PAS 陽性の
各論 I-5 章 雌性生殖器	407R	下 1	平滑筋肉腫の	平滑筋腫の
各論 I-5 章 雌性生殖器	411L	2	分裂増や	分裂像や
* 各論 I-6 章 造血系	425L	17	循環剤	循環器剤
各論 I-6 章 造血系	427R	下 8	クリスタルブルー	クレシルブルー
* 各論 I-6 章 造血系	440L	5	mastcytoma	mastocytoma
各論 I-7 章 免疫系	448L	3	は門脈から	は腹大動脈から
各論 I-7 章 免疫系	455L	3	胞腺上皮細胞	胸腺上皮細胞
* 各論 I-7 章 免疫系	457L	4	経口投与失宜による	経口投与の過誤による
各論 I-7 章 免疫系	459L	2	嚢法の	嚢胞の
* 各論 I-7 章 免疫系	462L	8	可染性マクロファージ	可染体マクロファージ
* 各論 I-7 章 免疫系	465L	下 3	骨髄性髄外造血	骨髄 (顆粒球) 性髄外造血
* 各論 I-7 章 免疫系	465R	下 2	骨髄性髄外造血	骨髄 (顆粒球) 性髄外造血
各論 I-8 章 下垂体	479	表 1	SRH	SRIH
各論 I-8 章 下垂体	479	表 1	SRF	SRIF
各論 I-8 章 下垂体	479	図 2	弓上核	弓状核
各論 I-8 章 下垂体	483L	9	莢膜細胞での	莢膜細胞での
各論 I-8 章 甲状腺	497L	6-7	chromophobe cell	chromophobe cell
各論 I-8 章 副腎	510R	16-17	terangiectasis	telangiectasis
各論 I-8 章 脾臓	518L	7	の毛細管に	の毛細血管に
各論 I-9 章 神経系	531L	10	生活機能を	生理機能を
各論 I-10 章 眼・付属器	563L	下 5	シュレム管 Schlemm	シュレム管 Schlemm
* 各論 I-10 章 眼・付属器	568R	6	に栄養した後、	に栄養供給した後、
* 各論 I-10 章 眼・付属器	569L	24	の炎刺激を	の炎症刺激を
各論 I-10 章 眼・付属器	576R	17	されることから、	されることがあり、
各論 I-10 章 眼・付属器	581L	下 3	X 線照射に	X 線照射に

\*: 正誤表 (第一版 2019 年 9 月) より追加修正

単元	項 (L/R)	行	誤	正
各論 I-10 章 眼・付属器	581R	下 8	髄膜種	髄膜腫
各論 I-10 章 耳・付属腺	586L	下 4	支持細胞 sapporting	支持細胞 supporting
各論 I-11 章 骨・関節	608L	14	未分化系間葉性細胞	未分化間葉系細胞
各論 I-11 章 骨・関節	620R	14	骨増殖体が	骨増殖帯が
各論 I-11 章 骨・関節	624R	24	いずれにも陰性	いずれにも陽性
* 各論 I-12 章 皮膚・皮下	627R	表 2	単位 mm	単位 $\mu$ m
各論 I-12 章 皮膚・皮下	637L	1	hair follicule	hair follicle
各論 I-12 章 皮膚・皮下	643R	4	、楕円形を	、紡錘形から楕円形を
各論 I-12 章 皮膚・皮下	643R	6	の多角細胞	の多型細胞
* 各論 I-12 章 皮膚・皮下	644L	15	striform pattern	storiform pattern
* 各論 I-12 章 皮膚・皮下	644L	下 11	多角形の	多型の
各論 I-12 章 皮膚・皮下	646L	4	striform pattern	storiform pattern
各論 I-12 章 乳腺	651R	表 1	Corpora Amylaces	Corpora Amylacea
各論 I-12 章 乳腺	656R	8	多角形の	多型の
各論 I-13 章 体腔	659L	18	下空静脈など	下大静脈など
各論 I-13 章 体腔	661L	16	癒着性炎 adhesiva	癒着性炎 adhesive
* 各論 I-14 章 妊娠病理	672	写真 8	C: 弱拡大像	D: 弱拡大像
* 各論 I-14 章 妊娠病理	672	写真 8	D 基底膜	C: 基底膜
各論 II-4 章 ビーグル	740R	下 1	限局性する	限局する
各論 II-4 章 ビーグル	742L	表 4	mucus cell hypolasia	mucus cell hypoplasia
各論 II-5 章 カニクイ	767R	表 1	(erythlopoiesis)	(erythropoiesis)
各論 II-5 章 カニクイ	777R	表 8-1	spermatid giant cell	multinucleated giant cell
索引	803	下 9-10	光毒性皮膚炎 光毒性変化	「こ」の索引ではなく「ひ」 へ

上記以外に誤植などお気づきの方は、是非、日本毒性病理学会事務局

(<http://www.japantopath.org/ja/info/contact/>) へご一報の程、宜しく願い申し上げます。